

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひらい園放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 18日	~	令和7年 9月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17	(回答者数) 17	
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日	~	令和7年 10月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数) 6	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 21日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間を活かした個別の過ごし方や関わりにより、安全基地としての取り組み	・利用者個々にしたいことができる場の提供。・個々の様子を観察し、変化に気付き対応する。・各職員が自分の役割を意識して利用者と関わる。・学校や家族と話をし過ごし方に反映させる。	・しきりになるものを用意し、場面によって個人のスペースを作れるようにする。
2	家族と信頼関係を築く取り組み	・送迎時に直接話をしている。・送迎時に話をするため、少人数で送れるよう配車を考える。・家族の状況や本人の様子で配車を考える。・家族の相談事は具体的に答えるよう必要に応じ、ミーティング等で話し合う。家族によって、電話やや来園時にも対応している。・本人が取り組んだことや良かったところを積極的に伝える。	・家族や家庭の変化にも目を向け、支援に反映させる。
3	利用者の将来性を考え、自己選択・自己決定を促す取り組み	・自由時間の過ごし方に重点を置いている。・個々に選べるよう環境を整え、自分で選んだ過ごし方ができるようにしている。・言葉、一覧からの選択、2択、写真からの選択等、個々に応じた選択手段を活用している。・学校や家族からの情報、本人からの情報、普段から様子を観察し選ぶものを用意する。・自由時間にやりたくない選択は良しとしている。その理由は把握しておく。・長期休暇の時期は買い物支援や外出先の選択にも配慮している。	・都度、選択の手段を考え、自分で選ぶ、決める経験が積めるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者や家族に対しての説明が不十分である。	・評価を実施した結果、意見の分かれる箇所があった。・警報時や感染症の対応は都度伝えているが、他は契約時に説明して以降確認できていない。・評価をしてもらう際、項目についての説明が不十分だった。	・評価の際、改めて項目の説明をする。・確認の頻度が少ない内容については個別支援計画の確認時等に確認していく。・職員間で評価の項目に対しての認識が統一されるよう確認する。
2	不定期勤務のパート職員と情報共有が不十分である。	・パート職員がミーティングに参加していない。そのため、利用者の支援方法が変更になった場合、口頭で伝えることが多い。	・利用者個々の支援についてパート職員も確認できるものを用意する。・担当者会等をパート職員も参加できる時間帯に行う。
3	園の様子等を外へ発信することが足りていない。	・家族より設備や活動内容や子どもの様子を実際に見ることができないかと意見がある。	・家族も参加できる活動を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ひらい園放課後等デイサービス
------	----------------

公表日 令和7年12月1日

利用児童数 18

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				広さはとても魅力に感じる。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2	配置数が適切かわからない。	・再度、配置数の説明をする。・現状の職員の動きを説明する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			2	場所を見ていないのでわからない。コロナ以降、活動場所を見れていないのでわかりにくい。	・「お知らせ」で場所がわかるものを載せる。・来園していただき、様子を見て頂く。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				特性を理解し、その都度対応して頂いていると思う。特性や状況に応じた関わり方や伝え方を考えて支援してくれている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	2	7		・園での取り組みを「お知らせ」等で発信する。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				普段から園での様子や支援の説明等、送迎時にわかりやすく伝えてもらっている。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	1	2		・園の取り組みを説明する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				・送迎時に様子を細かく伝えて頂いている。この時間のおかげで、自宅でもこどもの関わりが楽しめている。・活動の様子や出来事を丁寧に教えてくれるので安心して預けられる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	3	6		・園の取り組みを説明する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			2		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17				・もう少しお知らせの頻度を上げてほしい。 ・インスタをしてもらえるとより様子や雰囲気がわかる。	・頻度が上がるよう取り組んでいく。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1				
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	17				とても安心していると思う。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29 事業所の支援に満足していますか。	16	1			長期休暇も毎日、色々違った経験をさせて頂きとても満足している。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ひらい園放課後等デイサービス				公表日 令和7年12月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		空間は広く遊ぶのに適した環境である。	・広いスペースを過ごしやすく落ち着ける環境にしていくことは必要である。その時の人数や利用者の体調面により活動スペースを分ける必要がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			人数や下校時間の違い等で、日によって手薄だと感じる時間帯がある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	状況に応じた空間を作る工夫をする。	広い空間だが、必要に応じて仕切りがあるといいと思う。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			必要に応じ居場所を確保しているが、もう少し活用できるスペースがあれば良い感じる場合があった。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日のミーティングや月の職員会等で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ご意見をいただき職員会で業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員会での意見を出しやすい環境にあり都度、話し合い業務改善に努めている。	不定期の勤務のため参加できていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		不定期の勤務のため関わっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	研修の機会や案内が増え、外部で学ぶ機会が増えた。受講することに職場が積極的であると感じている。	不定期の勤務のため参加できていない。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		不定期の勤務のため、話し合いの場に参加できていない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		サービス計画は共有しているが支援にズレがある。統一した支援ができるようにする。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

供 給	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、ミーティングや引継ぎ等で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	当日は送迎がある為、翌日に振り返りを行っている。必要な内容はメモを残し、後日全員で把握できるようにしている。急ぎの事でない事項は送迎の都合上、次の日になることもあるが記録に残しミーティングで報告、連絡、相談を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		不定期の勤務のため参加できていない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		それぞれの将来を考え自己選択や自己決定ができる場面を増やす関わりを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		家族からの情報が多い。相談支援専門員を通じ、必要に応じて行っている。必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		相談支援専門員を通じ、情報提供を求められたら提供している。法人内での事業所間で行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6		公園等で一緒に遊ぶことがある。外出をした際、挨拶や一緒に遊ぶなどしており地域の子どもさんと関わる機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		地区での連絡会を開催し、課題や取り組みの共有ができた。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	家族からの相談は都度対応している。ペアレント・トレーニングは行っていない。	
運 営	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		11月30日にひらい園バザールを開催予定としており、幅広い年齢層や地域の方々にも楽しんでもらえるよう計画している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		家族を通し、医師の診断書や処方箋をいただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		家族を通し、医師の診断書をいただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			